

2025-26
第14回例会
2025.11.19



国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区

福島南ロータリークラブ会報

会員 77 名中 60 名出席 77.92% 修正 66 名 85.71 %メイクアップ 6 名
例会会場/ウエディング・エルティ TEL 024-535-6188 毎週水曜日 12:30~

◆会長あいさつ 菊地和宏会長

皆さん、こんにちは！

コンビニに入ると年賀状、耳にはクリスマスソング。季節はすっかり“年末モード”ですね。年々、時計の針が F1 並みに速く感じますが、皆さんはいかがでしょうか？

さて本日は、アイリス学園園長・青木美津雄様をお迎えしております。今年度、財団地区補助金を活用し、学園にベッドを贈呈致します。そして、もう一方、米山奨学生、呂夢媛様です。お二人には後ほどご挨拶を頂きます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

続いて、国際大会について。ロータリアンであれば“無理してでも”参加すべし！と、あえて強く申し上げます。私も入会したその年に参加しましたが、実は野地さんと林さんに“強引に”連れて行かれまして（笑）。でも今では、あの“強引な愛”に感謝しています。世界のロータリアンと直接つながる体験は、まさに「百聞は一見に如かず」。ぜひ皆さんもふるってご参加下さい！最近、仏教の「お布施」について書かれた記事を読んだのですが、これがロータリーの「奉仕」とピタリ一致するのです。お布施には大きく 3 つあります。

- ① 財施（ざいせ）：お金や物、そして労力（水や食料など）具体的な見える奉仕
- ② 法施（ほっせ）：口と心（知識、技術、教育）の奉仕
- ③ 無畏施（むいせ）：不安を取り除く、そばにいる安心感の奉仕

つまり、思いやりの心が奉仕の原点。小さな行動でも、心からの施しは大きな徳になるという事です。ロータリアンが行う「超我の奉仕」は、仏教でいう「お布施」にあたります。

お布施をすることは、イコール「人の喜びを我が喜びに変えること」であります。

ロータリアンである限り、生涯にわたって人生を楽しむことができると私は理解しました。

さて、年末年始に向けてイベントラッシュです。国際大会の申し込み、新会員セミナー、家族クリスマス例会、合同新年会とスケジュールは目白押しです。

皆さん！“全員参加”“一心同体”でこの冬も福島南 RC を熱く盛り上げて行きたいと思います！ご協力、宜しくお願ひ致します。

以上、会長挨拶でした。



続きまして、臨時クラブ総会です。

先日の理事会にて、池田良信さんの入会が承認されました。福島市平石の株式会社池田鐵工の社長で、昭和 56 年 5 月生まれ。推薦者は高橋勇雄会員です。

ご賛同いただける方は、どうぞ盛大な拍手をお願い致します！

以上で臨時総会を終わります。ご協力ありがとうございました。

◆米山奨学金授与

呂 夢媛（ロ・ムーエン）さん



◆児童養護施設アイリス学園様へ目録(ベット 15 台)贈呈及びスピーチ

アイリス学園園長 青木美津雄様



◆誕生日祝い

相田賢太郎会員

森口マリアン会員

渡邊勝会員

丹治頼光会員

丹治洋子会員

渡辺雅浩会員

河野忠会員

